

読み返すより、思い出す

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール：初めて読む英文から、実験の手続きと結論を読み分ける / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Before a test, what do you do? Most students read their notes again and again. It feels good, but it may not work well.

Scientists once asked two groups of students to learn the same text. The first group read it four times. The second group read it once, and then closed the text and wrote down everything they could remember. They did this several times.

Right after they studied, the first group felt more sure that they knew the text. But one week later, the second group remembered much more.

Why? While you are reading, the words are in front of your eyes, so your brain does not work hard. When you try to remember, your brain has to search for the answer, and that search makes the memory stronger.

So close your notebook. Write down what you remember, and then open the notebook and check. It feels harder, and that is the point.

〔語注〕 several=いくつかの・何回かの search=さがす・さがすこと

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア ノートは回数を重ねて読み返すほど記憶に残る
- イ 読み返すのは意味がないので、やめたほうがよい
- ウ ノートを閉じて思い出すほうが、読み返すより残る
- エ 覚えた自信の強さは、覚えている量をよく表している
- (2) 実験で、2つ目のグループがしたことは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 本文を最初から最後まで4回続けて読んだ
- イ 本文を1回読み、閉じて思い出して書くことをくり返した
- ウ 本文を1回読んだあと、覚えている内容を先生と話した
- エ 本文を読まずに、いきなりテストを受けた
- (3) 勉強した直後のようすとして、本文に合うものは？ 知識・技能 答え（ ） 3点
- ア 1つ目のグループのほうが、覚えた自信があった
- イ 2つ目のグループのほうが、覚えた自信を持っていた
- ウ どちらのグループも自信をなくしていた
- エ 1週間後には、2つのグループに差はなかった
- (4) 筆者が読者にすすめているのは？ 思考・判断・表現 答え（ ） 3点
- ア ノートを開いたまま、4回くり返して読み返す
- イ ノートを閉じて思い出して書き、あとで開いて確かめる
- ウ 覚えられたと思えるまで、ノートを何度も声に出して読み上げる
- エ テスト前に勉強する時間そのものを長くする

読み返すより、思い出す（基礎） | 解答と出題のねらい

解答

(1)	ウ	最後の2段落が結論。アは本文と逆、イは言い過ぎ、エは第3段落（自信があったのは覚えていなかったほう）と逆。
(2)	イ	第2段落 read it once, and then closed the text and wrote down ... several times。アは1つ目のグループ。
(3)	ア	第3段落 Right after they studied, the first group felt more sure。エは「1週間後」の内容とも食いちがう。
(4)	イ	最終段落の2つの提案（閉じて書く→開いて確かめる）。ウ・エは本文にない。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

設問の階段は01と同じ**大意→明示情報×2→筆者の提案**です。この英文は「2つのグループ」「直後と1週間後」という**取り違えやすい対比**を含むので、(2)(3)は精読の力を測れます。テスト直前に配ると、その紙自体が勉強法の指導になります（読ませたあと「では今から本文を閉じて、思い出せることを書こう」と続けられる）。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	実験の結論を1文に束ねられるか。「読み返しが最善」「自信＝理解」を切れるかを見る
(2)	明示情報	知識・技能	2つのグループの手続きを取り違えないか。選択肢を入れ替えるだけで難度を上げられる
(3)	明示情報	知識・技能	「直後」と「1週間後」の対比。時を表す語で情報を選び分ける
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から読者への助言を選ぶ。本文になーい一般論を切れるか

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦ーの3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

